



## 建築構造調査士の認定資格制度について

資格制度の発足から6年目を迎えて

株式会社構研設計事務所  
取締役設計技術部長 山下賢治

### 1. はじめに

建築構造調査士運営委員会では、本協会認定資格である「建築構造調査士」の資格制度を発足させて6年目を迎え、これまで延236名の建築構造調査士が誕生しています。ここでは、今年度実施された第6回認定資格講習会について紹介いたします。

### 2. 本認定資格講習会への受講資格条件

本講習会への受講資格条件は、下記の3項目を満足していることが条件となります。

- 本協会の正会員、または賛助会員であること。
- 日頃の業務において、既存構造物の現地構造調査に対して、実態を正しく捉え、的確に調査報告のできる調査技術者であること。
- 本協会の一員として、構造調査等を通して、本調査士資格を内外に広く活用、周知、普及していく意志を持つ調査技術者であること。

### 3. 第6回建築構造調査士認定資格講習会(平成27年度)

この建築構造調査士認定資格講習会は、前述の受講資格条件とともに下記の延べ2日間のすべての講習会を受講することを必要条件としています。

#### <第1日目：テキスト講習会>

- 日時：平成27年10月28日(水) 9時30分～16時15分
- 会場：アルカディア市ヶ谷私学会館
- 内容：<午前の部>
  - ①建築構造調査士のあるべき姿  
講師：山下賢治氏 (Strec 副会長・委員長・建築構造調査士)
  - ②鉄筋コンクリート構造の調査方法  
講師：市村清一氏 (運営委員・建築構造調査士)
  - ③非構造部材 (主に天井耐震について)  
講師：尾崎猛美氏 (Strec 常務理事・運営委員・建築構造調査士)
  - ④基礎と地盤  
講師：小田部雄二氏 (Strec 副会長・建築構造調査士)

<午後の部>

⑤鉄骨構造における現場調査と耐震診断技術

講師：玉松健一郎氏（Strec 名誉会長・運営委員・建築構造調査士）

⑥診断と補強に関わる「現場調査と調査結果の扱い」

講師：清水泰氏（日本大学講師・Strec 構造物評定委員）

<第2日目：実技講習会・判定試験>

○日時：平成27年11月27日(金)12時30分～17時30分

○会場：日本ヒルティ(株)本社 3階大会議室

○内容： ①調査機器等に関する取り扱い講習

②調査機器等の実技講習ほか

講師：篠原 浩氏（運営副委員長・建築構造調査士）

講師：久富慎吾氏（運営委員・建築構造調査士）

講師：橋本智子氏・吉川博之氏（建築構造調査士）

③判定試験

担当：小川秀彦氏（運営委員・建築構造調査士）

#### 4. 第1日目のテキスト講習会



写真-1 秋山友昭 Strec 会長の挨拶



写真-2 受付(中島:右、川越:左)



写真-3、4 テキスト講習会風景

### ①建築構造調査士のあるべき姿



写真-5、6 講師 山下賢治氏 (Strec 副会長・運営委員長・建築構造調査士)

### ②鉄筋コンクリート構造の調査方法



写真-7、8 講師 市村清一氏 (運営委員・建築構造調査士)

### ③非構造部材 (主に天井耐震について)



写真-9、10 講師 尾崎猛美氏 (Strec 常務理事・運営委員・建築構造調査士)

#### ④基礎と地盤



写真-11、12 講師 小田部雄二氏 (Strec 副会長・建築構造調査士)

#### ⑤鉄骨構造における現場調査と耐震診断技術



写真-13、14 講師 玉松健一郎氏 (Strec 名誉会長・運営委員・建築構造調査士)

#### ⑥診断と補強に関わる「現場調査と調査結果の扱い」



写真-15、16 講師 清水泰氏 (日本大学講師・Strec 構造物評定委員)

今年度のテキスト講習会には、18名の新規受講者が午前・午後の部を通して受講されました。

さらに、午後の部では、第2回目の資格取得者(合格後3年間の有効期限)の更新講習会を兼ねて実施されました。

その結果、今年度の資格更新者は、延べ21名となりました。



写真-17 司会進行：篠原浩運営副委員長

## 5. 第2日目の実技講習会・判定試験

実技講習会・判定試験は、日本ヒルティ本社(株)大会議室等において実施されました。

### ① 調査機器等の理論・実技講習



写真-18 橋本智子氏 (理論講師)  
(建築構造調査士)



写真-19 吉川博之氏 (実技講師:右端)  
(建築構造調査士)

### ② 各種調査機器等の取扱講習ほか



写真-20 久富慎吾氏 (取扱講師:中央)  
(建築構造調査士)

### ③ 判定試験



写真-21 試験担当：小川秀彦氏  
(建築構造調査士)

## 6. 「建築構造調査士」資格取得・登録について

本調査士制度において、資格取得・登録については、下記の通り規定いたしました。

### ○合否判定

テキスト・実技講習及び判定試験結果に基づき、当運営委員会において合否判定を行い、年度内に合格者を決定する。

但し、有資格者(一級・二級建築士、技術士のいずれかの保有者)は、判定試験を免除し、テキスト・実技講習のすべての受講完了をもって合格とする。

### ○資格登録証の交付

受講合格者に対して、本協会認定である「建築構造調査士」登録証を交付する。  
(登録証は、協会ロゴ入りストラップIDケース付きで携帯形式である。)

### ○登録の有効期限

合格後、3年間とする。

### ○登録の更新

有効期限年度の更新講習会を登録更新申請の上で受講しなければならない。

### ○登録資格の表示

建築構造調査業務に就くときは、必ず資格登録証を携帯すること。

名刺への資格表示は、建築構造調査士(Strec) と表示すること。



写真-22 資格登録証(ストラップ付)

## 7. おわりに

本資格制度は、今年度で6年目を迎えましたが、この6年間の本協会認定による建築構造調査士の有資格者数は、おそらく延べ250名を超えることが予想されます。

すなわち、正会員・賛助会員の技術会員の皆様の本資格制度に対する期待と積極的な意欲の表れと理解しておりますので、本運営委員会としましてもその期待に応えるべく本資格制度の一層の充実を図ってまいります。

今後とも、本資格制度に関してご理解ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

以上

1

テキスト講習会第1日目 9時35分～9時50分

## 建築構造調査士のありべき姿

Strec協会 副会長  
建築構造調査士運営委員会  
委員長 山下賢治  
(Strec建築構造調査士)

2

### 構造調査コンサルティング協会 倫理

構造調査コンサルティング協会は、既存建造物の安全を社会に提供することを使命とします。

1. 私たちは、建造物の医者として建造物の実態を把握し、人命への危険の除去に全力を尽くします。
2. 私たちは、社会の資産である建造物の維持・管理のため、現状を把握し、その延命に努めます。
3. 私たちは、計り知れない自然の力を念頭に、リスクを考え様々な技術を取り入れ安全・安心に全力を尽くします。
4. 私たちは、倫理観を持った技術者の育成を最優先に努めます。
5. 私たちは、依頼者の良きパートナーとして責務を全うし、且つ中立・独立の立場を堅持します。

3

### Strec「建築構造調査士」の精神

私たち一般社団法人構造調査コンサルティング協会に属する「建築構造調査士」は、協会倫理を順守し、社会インフラである建築建造物の健全性の維持・保全のため、適切な調査・判定を行い、人命の安全・安心を確保すべく、その延命に努めることを目指します。

建築構造調査士運営委員会

4

### 「建築構造調査士」の位置づけとして・・・

Strec協会認定資格である「建築構造調査士」とは、RC造・S造・これらの混合構造・組積造等の建築物の耐震構造体の現状調査に対して実態を正しく捉え、的確に調査報告のできる「調査技術者」を対象とするもので、一方の調査結果に基づく診断計算・評価・補強設計等を分担する一級建築士等の「診断設計技術者」との関係は、両翼の一端を担うような相互関係にあるものと位置づけられます。

5

### 「建築構造調査士の資格制度」の役割は・・・

Strec協会としての資格制度の役割は、協会の正会員・賛助会員各社の社員を対象として、建築建造物の調査を実施する技術者の育成、耐震診断・耐震補強等に関連した調査技術の共有化とともに、Strec協会員の社会的基盤の確立、社会的地位の向上を志向するための活動の一環として捉えております。

6

### 「現状」として・・・

●資格制度の現状  
この資格制度は、平成22年度に発足以来、昨年までの5年間で延べ236名の資格者を排出しており、「建築構造調査士」の資格者は、日頃の業務において、その資格の持つ意味を十分に理解・自覚を持って頂きながら、大きな責任と使命のもとで活躍されています。

7

### 「今後の展望」として・・・

●今後の展望として、  
現状では耐震診断・耐震補強等に関わる業務が主流ですが、今後は社会インフラの長寿命化対応、また、近未来の首都圏、東海、東南海の大震災の発生対応等に対する確かな技術の蓄えが必要であり、そのためにも協会認定資格制度の活用・活動を積極的に行う必要があります。  
いずれは、Strec協会認定資格に止まらず、技術を共有できる他の協会や事業主体等との資格の連携等を模索・拡大を図り、社会的認知度を高めるよう努めたいと思います。

以上